

のしろの活力推進委員会

委員長 大塚 一生

委員会報告

今年度、のしろの活力推進委員会では、創立65周年にあたり、郷土愛の醸成と地域の活力推進を目的として、「郷土の発展につながる活力あふれるまちづくり事業の実施」、「地域と共に育む継続事業の中期計画策定・情報発信」を主軸として活動に取り組んでまいりました。

まずは、創立65周年という年をLOMメンバー全員の意識を向上させ活動していくために、年度の最初の例会となった2月担当例会は、我々は何のために活動を行っているのかを振り返っていただく例会となりました。デザイナーという職業の傍ら、秋田県内を中心に地域活性化や情報発信という分野においてご活躍されている澁谷和之氏を講師としてお招きしました。そして、新鮮な世界観と切り口で語られた地域活動の講話は、各々が自分の活動を振り返るよいきっかけとなり、活動力の源となる情熱や向上心をさらに引き出し、年度最初に相応しい例会とすることができたと感じております。

また、7月には、県内外の特産品や祭りなどの地域資源を一堂に会し、地域資源の再確認と再発信、そして郷土愛の醸成を目的とし、創立65周年記念事業となる「け!～地域の魅力たからいち～」を能代市河畔公園にて開催しました。当日は多くのお客様に訪れていただき、多くの方々にかげがえのない地域の魅力をあらためて感じていただくことができたことと確信しております。また、本事業では、準備段階からメディアや各市町村等の行政機関、そして県内外のLOMからも多大なるご協力をいただきました。運営側だけに留まらず、ご参加いただいた各地域の皆様とのつながりも今まで以上に深められたことで、能代JCとしても今後の活動をしていくうえで、協力体制および連携しやすい環境を作り上げることができたと感じております。あらためて、事業に携わっていただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

また、12月の継続事業の中期計画策定では、過去と未来をつなぐ創立65周年という節目に、受け継がれてきた事業と想いを、より戦略的に発信・推進していくためのビジョンを模索しました。未来に効果的につなげていくためには、変化の速い今の時代に対応した柔軟なビジョンである必要があり、そのため策定された今回のビジョンは、郷土の発展に対して、大きくそして新たな一歩となることを確信しております。

最後に、当委員会の事業推進にあたって、各々の委員会の事業の枠を超えながらご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。また同時に、事業推進のために身を粉にしてご尽力いただいた伊藤副理事長をはじめとする委員会の皆様へ心より感謝を申し上げ、年間報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

事業報告

(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・2月23日	2月担当例会 「心が動けばもつとできる!～我々の活動の原動力を探る～」	金勇	
・7月16日	しのめ夏祭り	能代支援学校	
・7月30日	創立65周年記念事業 「け!～地域の魅力たからいち～」	能代市河畔公園	○
・8月23日	8月担当例会 「JC教育委員会～目指せ!最強の青年経済人～」	能代市中央公民館	
・12月	地域とともに育む継続事業の中期計画策定		
・通年	自主独立の信念をもった会員拡大運動		

決算

《項目》	《金額》
・2月担当例会「心が動けばもつとできる!～我々の活動の原動力を探る～」	59,610円
・創立65周年記念事業「け!～地域の魅力たからいち～」	1,236,993円
・8月担当例会「JC教育委員会～目指せ!最強の青年経済人～」	9,067円
合計	1,305,670円